

特許協力条約

PCT

国際予備審査報告

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)
〔PCT 36 条及び PCT 規則 70〕

REC'D 12 MAY 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 P 6 4 2 W O	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知 (様式 PCT / I P E A / 4 1 6) を参照すること。	
国際出願番号 PCT / J P 0 3 / 1 7 0 9 2	国際出願日 (日.月.年) 2 6 . 1 2 . 2 0 0 3	優先日 (日.月.年) 1 0 . 0 1 . 2 0 0 3
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ B26D1/06		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社島精機製作所		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。 <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT 規則 70.16 及び PCT 実施細則第 607 号参照) この附属書類は、全部で <u>1</u> ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 2 3 . 0 7 . 2 0 0 4	国際予備審査報告を作成した日 1 2 . 0 4 . 2 0 0 5	
名称及びあて先 日本特許庁 (IPEA / JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 堀川 一郎 電話番号 03-3581-1101 内線 3364	3 P 8325

様式 PCT / IPEA / 409 (表紙) (1998 年 7 月)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PCT 35 条(2)) に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲
請求の範囲

1、3、4

有
無

進歩性 (IS)

請求の範囲
請求の範囲

1、3、4

有
無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲
請求の範囲

1、3、4

有
無

2. 文献及び説明 (PCT 規則 70.7)

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
 PCT規則 70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

- ☒ 明細書 第 1-7 ページ、出願時に提出されたもの
 明細書 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 明細書 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 請求の範囲 第 _____ 項、出願時に提出されたもの
 請求の範囲 第 3, 4 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 請求の範囲 第 _____ 項、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 請求の範囲 第 1 項、11.01.2005 付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 図面 第 1-3 ページ/図、出願時に提出されたもの
 図面 第 _____ ページ/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 図面 第 _____ ページ/図、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則 23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則 48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則 55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 2, 5, 6 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

請求の範囲

1. (補正後) 複数の空気不透過性のシート材を上下に重ねて真空吸引しながら固定し、所定の裁断線に沿ってパーツへと裁断するに際して、
- 5 前記裁断線の近傍でかつ前記パーツの縫い代またはその外側を、裁断ヘッドのナイフまたは目打ちとの摩擦熱により局部的に加熱することにより、前記シート材を相互に上下に溶着させて、上下のシート材を固定した状態で裁断し、
もしくは、前記裁断線上の複数個所を切り残すように前記裁断ヘッドにより裁断した後に、該切り残しを前記裁断ヘッドにより裁断する、
- 10 ことを特徴とする、シート材の裁断方法。
2. 削除
3. 前記局部加熱を、裁断線もしくはそのやや外側に対して、1 パーツ当たり数カ所で行うことを特徴とする、請求の範囲第1項のシート材の裁断方法。
4. 前記局部加熱を、裁断線の内側の縫い代に対して、1 パーツ当たり数カ所で行うことを特徴とする、請求の範囲第1項のシート材の裁断方法。
- 15 5. 削除
6. 削除